



全国普通科高等学校長会

「学校の管理運営に関する現状と課題」

管理運営研究委員会

「調査項目の内容」

「学校の管理運営に関する現状と課題」について、全国の高等学校の管理運営の現状を調査・分析した。

- ▶ **I 人事制度の現状と課題について**
 - ▶ 1 副校長について 2 主幹教諭について 3 指導教諭について
 - ▶ 4 教科主任について 5 人事異動における現状と課題について
 - ▶ 6 教育管理職の任用について 7 指導主事の任用について
- ▶ 今年度は、昨年度の調査結果を踏まえて、項目・選択肢を整理し、経年変化を追跡することとした。
- ▶ **II 人材育成についての現状と課題について**
 - ▶ 1・2 教員評価制度とその課題について 3 教員の(悉皆)研修について
 - ▶ 4 長期休業期間中等での教員の研修について
 - ▶ 5 校長のリーダーシップ等の研修について 6 組織マネジメントの実践について
- ▶ 今年度は文言整理を行い、調査項目と内容の一部を微修正した。
- ▶ **III 施設・設備に関する現状と課題について**
 - ▶ 1 改築・改修の目的について 2 学校施設設備の重要課題について
 - ▶ 3 非構造部材の課題について
- ▶ 今年度は、調査項目と内容の一部を微修正した。
- ▶ **IV 管理運営に関わる喫緊の課題について**
 - ▶ 1 就学支援金制度について 2 土曜授業と教員の勤務について
 - ▶ 3 週休日における部活動の指導について 4 職員等の配置について
 - ▶ 5 防災体制の整備について 6 退職後の制度について
- ▶ 今年度は、4 職員等の配置についての中に、学校司書の配置状況を調査する項目を追加した。
- ▶ **V 予算要望事項**
 - ▶ 今年度は特に変更を加えていない。

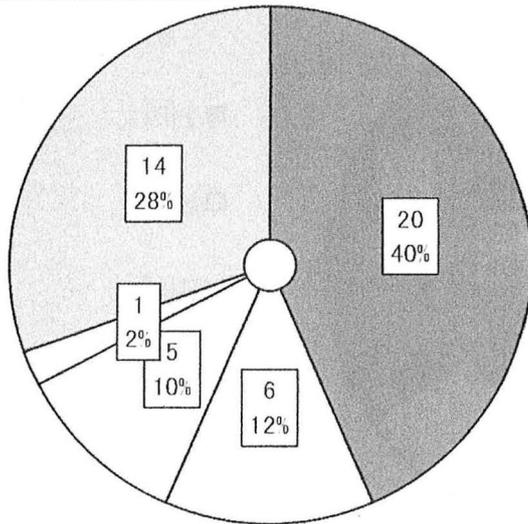
IV 管理運営に関わる喫緊の課題 結果の概要

- ▶ 就学支援金制度について、多くの県から事務処理上の課題が指摘されている。
- ▶ 土曜授業と教員の勤務については、実施の回数は月2回程度が最も多かったが、「学校による」というものが16県と実施している県の半数以上であった。
- ▶ 週休日の部活動指導については、特殊勤務手当支給、勤務振替と手当支給の併用がほとんどである。
- ▶ 理科実習助手の配置は全校配置が17県しかなく、ここ2年で3県減少している。5割以上の学校に配置されている県も19県と昨年度より4県の減少である。未配置校での業務対応は、教員が行う県が21県、賃金雇用の対応が1県で昨年度とほぼ同数であった。
- ▶ スクールカウンセラーの全校配置は昨年度より2県増えて10県である。
- ▶ 就職支援員・キャリアアドバイザー等は、昨年度と同様3分の1を超える県が配置している。
- ▶ 学校司書は4割以上の県で全校配置されているが、配置されていない県では司書教諭以外の教員や嘱託員がその業務を行っている。読書活動の推進においては学校司書の配置状況の現状は大きな課題でもある。
- ▶ 防災体制の整備については、昨年度より進んでいるが、生徒用の非常食料等の備蓄品の整備について「生徒用の備蓄なし」とした県が4割弱あった。災害時に高校は、ほとんどの県で、一部の学校が避難所に指定されている。
- ▶ 退職後の制度について、平成27年4月1日現在では、「再任用フルタイム(定数としてカウント)」が44県(94%)、「再任用短期(定数としてカウント)」は39県(83%)であった。



学校司書の配置状況

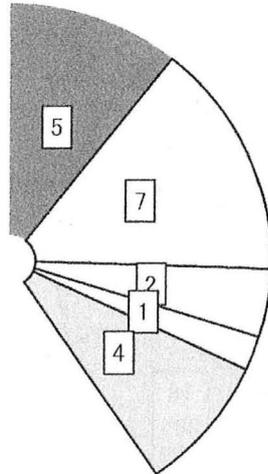
平成27年度新規



- 全校に配置
- 8～9割程度に配置
- 6～7割程度に配置
- 5割程度に配置
- その他

学校司書欠員の対応

平成27年度新規



- 司書教諭が行う
- 司書教諭以外が行う
- 嘱託員等
- 賃金による雇用
- その他